

映画「明日香に生きる」

ドキュメンタリー映画プロジェクト

企画制作資料

2022/6

株式会社ディンギーズ 担当：藤原福次

〒573-1134 大阪府枚方市養父丘 1-11-9 TEL：072-396-0729

<https://www.inochi-hospice.com/>

■はじめに

奈良県明日香村を舞台に、そこに暮らす人々と医療との関わり、明日香村国民健康保険診療所 武田医師と研修医、患者との関わりを撮影、ドキュメンタリー映画「明日香に生きる」として製作します。明日香村の美しい自然、四季折々の風景を織り交ぜ、人と自然とのかかわりも表現する映像づくりを目指します。

■映画の企画概要

◆企画の背景

奈良県の中央部に位置する明日香村。

飛鳥時代の宮殿や史跡が多く発掘されていることで知られ、「日本人の心のふるさと」とも紹介されている。しかしピーク時 8000 人※余りだった人口は現在 5500 人弱にまで減少しており、高齢化率は 40%を超えている。※1945 年の村域に相当する人口

明日香村に代表される、日々刻々と過疎化が進む我が国の地方部では、そこに住み暮らす人々の「生」と「死」を支える医療の在り方が問われている。

地域で生きること、そして死することの安心を担保するのは医療に他ならない。在宅医療の充実が求められる現状の中、医療を担う人材の育成は急務である。少子高齢化が進む中での地域医療の在り方は国全体における大きな問題となっている。

◆企画の趣旨

明日香村国民健康保険診療所は村民のかかりつけ医として身近で幅広い診療を提供し、在宅医療の充実を目指し日々の診療活動が続けている。また、地域医療を担う次代の医師の育成のため、医学生や研修医の教育に注力を注いでいる。

本企画は、診療所管理者の武田以知郎医師と研修医の村民との交流を見つめることで、武田医師の医療活動と研修医の成長する姿を通じて、地域医療の現実と理想像を描く。

自然豊かな明日香村の四季の風景と人々の暮らしを背景に、村で生まれ育ち、やがて迎える人生の仕舞いを村でと願う人たちが必要とする医療とは何か？を問い描くことを目指す。

◆構成要素と概略について

○明日香村の四季

歴史遺産や史跡が数多く保存されている村の四季。→村の年間行事と四季折々の風景

○明日香村国民健康保険診療所の働き

管理者の武田医師と研修医の日々の診療活動。村民との交流や診療活動を経て成長していく研修医の姿。→地域医療への目覚め、家庭（総合）医とは何か？

○人々の暮らし、その「生」と「死」

明日香村で生まれ育ち、この地での暮らしを大切にしている人々の姿。→棚田を守る農家の暮らしなど

上記三つの要素を中心に、個々にまつわるエピソードを互いに交差させる構成を目指す。

▼補足

・飛鳥を読んだ万葉集

「采女の袖吹きかへす明日香風みやこを遠みいたづらに吹く」 0051

「飛ぶ鳥の明日香の里を置きて去なば君があたりは見えずかもあらむ」 0078

「我が背子が古家の里の明日香には千鳥鳴くなり妻待ちかねて」 0268

「故郷の飛鳥はあれどあをによし奈良の明日香を見らくよしも」 0992

※他長歌もあり

上記の万葉歌を構成に組み入れることも一考

→背景に故井上博道氏の写真を

※井上博道（1931年6月28日生～2012年12月12日没）写真家

産経新聞写真部勤務を経てフリー。大和路の世界をライフワークにしていた。

代表作に「東大寺」中央公論、「万葉集 Man'yo Luster」P・I・E BOOKS など

・「まかみ」について

「まかみ」（真神⇒まがみ・しんじん）はニホンオオカミの古名、異名。

古来我が国に生息していた狼が神格化された「真神」は人語を理解し人間の性質を見分ける力を有し、善人を守護し悪人を罰するものと信仰された。

大和国にある飛鳥の真神原の老狼は神格化され、万葉集巻八（-1636）には、「大口のまかみの原にふる雪はいたくなふりそ家もあらなくに」（舎人娘子）と記される。

この「大口の真神原」は飛鳥衣縫造祖樹葉（あすかきぬぬいのみやつこのおやこのは）の邸宅があったとされ、蘇我馬子の発願により館を廃し法興寺（後の飛鳥寺）の造営が始まったとされる。

■制作スケジュール(予定)

		風景	診療所の様子	行事等
2021 年	3 月			
	4 月			
	5 月			
	6 月			
	7 月			
	8 月			
	9 月	初秋	クランクイン／研修医着任 診療所／研修医／訪問診療	「村民体育祭」
	10 月	秋	診療所／研修医／訪問診療	「太子会式」橘寺
	11 月	晩秋	診療所／研修医／訪問診療	紅葉
	12 月	初冬	診療所／研修医／訪問診療	
2022 年	1 月	冬	診療所／研修医／訪問診療	「綱掛け神事」稲渕・栢森
	2 月		診療所／研修医／訪問診療	「おんだ祭り」飛鳥坐神社
	3 月	初春	診療所／研修医／訪問診療	「厄除護摩供大般若法要」岡寺 「飛鳥ハーフマラソン」
	4 月	春	診療所／訪問診療	「石舞台」夜桜ライトアップ 「花会式」飛鳥寺 「盟神深湯」甘樫坐神社
	5 月	初夏	診療所／訪問診療	田植え
	6 月	梅雨	県立医大での講義	
	7 月	夏	診療所／訪問診療	棚田
	8 月	盛夏	診療所／訪問診療	
	9 月	初秋	クランクアップ	
	10 月	編集・仕上げ作業		
	11 月	↓		
	12 月	録音		
2023 年	1 月	本編完成／先行上映会		
	2 月	劇場公開スタート・関西		
	3 月	・首都圏／東海北陸		
	4 月	・中四国／九州		
	5 月	・東北／北海道		
	6 月	↓		
	7 月	自主上映会解禁		

■劇場公開

「明日香に生きる」は、「いのちがいちばん輝く日」(2013)、「四万十 いのちの仕舞い」(2018)、「結びの島」(2020) 同様、全国劇場公開および自主上映会にて一般に公開します。

・主な視聴対象

50 代以上の女性 (※過去 3 作品のデータより)

生きることや死ぬこと、看取りについて関心のある方

医療関係者、介護関係者、それらを目指す学生さん

・劇場公開 ※2023 年 2 月公開予定

イオンシネマ他、シネマコンプレックス (全国)

京都シネマ、第七芸術劇場他、ミニシアター系映画館 (全国) にて公開

・自主上映会 ※2023 年 7 月解禁予定

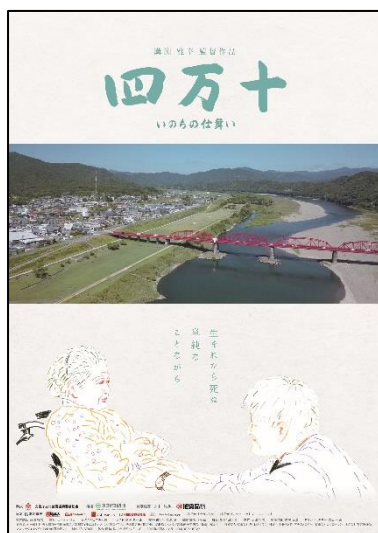
全国各地の自主上映会主催団体、各地の市民会館の自主事業など



「結びの島」(2020)



「いのちがいちばん輝く日」(2013)



「四万十 いのちの仕舞い」(2018)



■過去三作品の公開劇場一覧

			いのち	四万十	結びの島
東北	青森	イオンシネマ弘前		○	
	岩手	イオンシネマ北上	○		
	山形	イオンシネマ天童	○		
	山形	イオンシネマ米沢	○		
関東	東京	アップリンク	○		
	東京	新宿 K's cinema	○	○	○
	東京	シネマ・チュプキ・タバタ		○	
	埼玉	深谷シネマ		○	
	神奈川	横浜ニューテアトル	○		
	神奈川	横浜シネマリン		○	○
東海	愛知	名古屋シネマテーク	○	○	○
	愛知	イオンシネマ豊川	○		○
	愛知	イオンシネマ名古屋茶屋			○
	三重	イオンシネマ津	○	○	○
	石川	イオンシネマ金沢			○
関西	大阪	第七藝術劇場	○	○	○
	大阪	シアターセブン	○	○	○
	大阪	イオンシネマ茨木			○
	大阪	イオンシネマリんくう泉南	○		
	京都	京都シネマ	○	○	○
	京都	イオンシネマ高の原	○	○	
	兵庫	元町映画館	○	○	○
	滋賀	イオンシネマ近江八幡	○	○	○
	滋賀	イオンシネマ草津	○	○	
	奈良	イオンシネマ西大和	○		○
	和歌山	イオンシネマ和歌山		○	○
中国	広島	横川シネマ	○	○	○
	広島	シネマ尾道			○
	広島	福山駅前シネマモード	○		
	広島	イオンシネマ広島			○
	岡山	シネマ・クレール	○		
	岡山	イオンシネマ岡山			○
	山口	イオンシネマ防府			○
	山口	MOVIX 周南			○
四国	香川	ソレイユ・2	○		
	香川	イオンシネマ高松東		○	
	徳島	イオンシネマ徳島		○	
	愛媛	シネマルナティック	○		
	愛媛	イオンシネマ今治新都市		○	
	高知	TOHO シネマズ高知		○	
九州	福岡	イオンシネマ福岡		○	
	福岡	イオンシネマ大野城	○		
	熊本	イオンシネマ熊本			○

■ご協賛のお願い

映画「明日香に生きる」は、皆様からのご支援により映画製作・劇場公開を行います。全国の皆様へ映画をお届けするお手伝いをお願いいたします。

■ドキュメンタリー映画「明日香に生きる」制作協賛金募集要項

- 協賛金名：ドキュメンタリー映画「明日香に生きる」制作プロジェクト 協賛金
- 協賛金使途：映画制作費（製作・宣伝・劇場公開に関わる経費）
- 協賛コース：☐ 特別協賛金：100万円（企業・団体・個人）
☐ 企業協賛A：50万円（企業・団体）
☐ 企業協賛B：10万円（企業・団体）
☐ 個人協賛：1万円～（個人）

●協賛特典：

映画WEBサイト・パンフレットにてお名前をご紹介します。個人協賛・企業協賛Bの方はお名前、企業協賛Aの方は企業・団体のロゴを映画エンドロールにてご紹介しします（予定）。

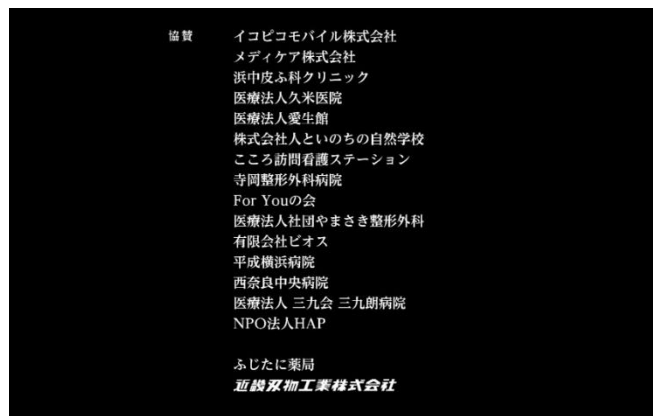
特別協賛・企業協賛Aの方は、以上に加え、映画ポスター、チラシにもお名前を掲載します。

※お名前の掲載はご希望の方のみ。

■協賛方法

別紙、協賛申込み用紙にご記入いただきFAXをお送りください。WEBサイトからもお申込みいただけます（<https://www.inochi-hospice.com/>）。申込用紙到着後、折り返しご連絡いたします。

※エンドロールイメージ



※ポスター・チラシイメージ



■ご協賛のメリット

「豊かな最期」をテーマにする本作品を支援される貴社の姿勢を、全国の皆様へ良いメッセージとして発信することができます。

◆自社を PR することが出来ます

ドキュメンタリー映画は低予算で小規模公開、というのが通例です。

しかし、過去3作品では、北は青森から南は熊本まで全国規模での公開を実現しています。本作も同様に予定しています。

★過去3作品では、映画公開43劇場、観客動員数約30,000人を達成。

★自主上映会88団体、鑑賞者約10,000人を数えます。

◆明日香村を全国へ PR することが出来ます

これらの方々に、明日香の魅力は PR することができます。

明日香の魅力を伝えることで、観光客の増加、就労者の増加、永住者の増加が期待でき、地域経済の活性化につながります。

※新聞各紙での報道事例

2019年(平成31年)2月2日 土曜日 13版 生活 28

ホスピス 自分らしく生きる場



映画「いのちがいはんくく日」

4人の患者の日常描く

ホスピス イギリス発祥とされ、日本ではおもに進行したがん患者が入院する。心身の痛みを和らげる緩和ケアを提供する。厚生労働省によると、緩和ケアのための病床は計2700施設、5122床(2011年10月現在)。

「いのちがいはんくく日」は、終末期の患者と家族の日常を描いたドキュメンタリー映画。4人の患者の日常を描く。ホスピスとは、がんや高齢者などの終末期の患者が、自宅で安心して暮らせるよう支援する施設。映画は、4人の患者の日常を描き、家族のサポートの重要性を伝える。

(第3種郵便物認可)

在宅医療の日々映画に



小笠原市立小笠原病院 在宅医療科 医師 小笠原 浩二

「在宅医療の日々」は、小笠原市立小笠原病院の在宅医療科で働く医師小笠原浩二の日常を描いたドキュメンタリー映画。在宅医療の現状や医師の悩み、患者の家族のサポートの重要性を伝える。

来月公開 命のしまい方見つけて

在宅医療の現状や医師の悩み、患者の家族のサポートの重要性を伝える。来月公開。命のしまい方見つけて。

「在宅医療の日々」は、小笠原市立小笠原病院の在宅医療科で働く医師小笠原浩二の日常を描いたドキュメンタリー映画。在宅医療の現状や医師の悩み、患者の家族のサポートの重要性を伝える。

27 11 山梨 13版 2020年(令和2年)10月7日(水) 第4期

人生の終わり 寄り添う医師



ドキュメンタリー映画 結びの島 公開

「結びの島」は、人生の終わりを迎える患者と医師の日常を描いたドキュメンタリー映画。人生の終わりを迎える患者と医師の日常を描き、人生の終わりを迎える患者と医師の日常を描く。

「結びの島」は、人生の終わりを迎える患者と医師の日常を描いたドキュメンタリー映画。人生の終わりを迎える患者と医師の日常を描き、人生の終わりを迎える患者と医師の日常を描く。

■制作費について

いただいた協賛金は、以下映画制作に関わる費用に活用させていただきます。

◆ 制作費用概算：10,000,000 円

- ・製作企画費： 200,000 円
- ・スタッフ費： 4,000,000 円
- ・機材費： 1,300,000 円
- ・ロケ経費： 1,500,000 円
- ・仕上げ費： 2,000,000 円
- ・公開準備費： 1,000,000 円



◆ 協賛金：10,000,000 円

- ・特別協賛 100 万円×1 口=100 万円
- ・企業協賛 A 50 万円×10 口=500 万
- ・企業協賛 B 10 万円×30 口=300 万円
- ・個人協賛 1 万円×100 口=100 万円

※口数を限定するものではありません

●ご協賛企業さま（2022 年 5 月現在）

- ・医療法人南風会様
- ・奈良トヨタ株式会社 様／西川建設株式会社 様／地域ケアセンターとよだ 様／
合同会社 TKT 福祉経営研究所 様／株式会社ユーデーコンサルティング 様

■映画情報(予定) 2023年早春劇場公開予定

2023 年／日本／カラー／4KDCP／110 分（予定）

- ・監督：溝渕雅幸
- ・製作統括：藤原福次
- ・製作進行：馬場麻紀
- ・語り：とりばみはる
- ・音楽：ザビエル大村
- ・撮影：長谷川智章
- ・録音：増田岳彦
- ・映像技術：スタジオ・ビーアンドエム
- ・サウンドミキサー：吉田一郎
- ・後援：公益財団法人日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団 ／ 奈良県（予定）
- ・制作：R's STAFF
- ・製作・配給：株式会社ディンギーズ

■本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社ディンギーズ 担当：藤原福次
〒573-1134 大阪府枚方市養父丘 1-11-9
TEL／FAX:072-396-0729 携帯:090-4649-3648
meil:jyo-ei@dinghies.jp